

村政の動き〜ゴミの状況

私達の生活は、さまざまな資源の利用によって成り立っており、豊かな時代といわれている今ですが、一方では省資源・省エネルギーの必要性を忘れがちで、使い捨ての生活様式が定着しています。

地球上の限りある資源を有効に活用し、浪費を避け、最大限リサイクルを図ることが、今、重要な課題となっています。

豊かな自然を次の世代に引き継ぐためには、私達ひとりひとりがライフスタイルを見直し、物を大切にし、便利・快適よりも安全・健康を求める心を育て、またそうした気持ちを実際に生かせる村づくりを行っていかねばなりません。

そのため、村としてもゴミの減量化に取り組んでいます。その一つとして、生ゴミ処理機の購入に対する助成制度があります。一台あたり二万円を上限として、助成がありますので、お気軽に、役場産業建設課にご相談ください。できる限り、自宅で処理をすることで、環境への負担が減り、同時にゴミ処理費の節減にもなります。

過去5年間における村内のゴミの量は、下記の表のとおり、皆様のご協力により減少傾向にあります。今後も引き続きゴミを減らす4つの取り組み『4R(※)』を実行していただきますようお願いいたします。

4Rとは・

R e f u s e (リフューズ)

ゴミになる物は、「いらぬ」と断る。

R e d u c e (リデュース)

ゴミになる物は、できるだけ減らす。

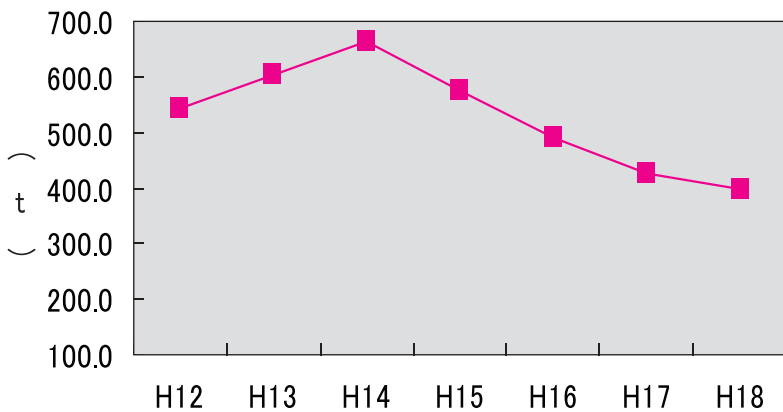
R e u s e (リユース)

モノをすぐ捨てずに再利用する

R e c y c l e (リサイクル)

不要になった物は、リサイクルのルールに乗せる。

《年度別のゴミの収集状況》



《回収したゴミを分別している様子》

※ 不法投棄現場を発見した場合、まずは役場産業建設課へお問い合わせください。
Tel 79・2111

今回は、筏津知社線、影石谷く引谷線、佐淵線、国道沿道を重点的に回収しました。近年の傾向で、大型のゴミは減少傾向にあります。その反面、弁当ガラ、ペットボトル、缶、ビンが増加しています。不法投棄者は、不法投棄してある場所、捨てる傾向にあります。その温床を作らないためにも、早期回収が一番です。日頃から、見かけたほんの小さなゴミから回収してみたいかがででしょうか？

◆不法投棄回収行いました

11月23日に、環境衛生委員と、役場ボランティアで、村内の不法投棄回収を行いました。